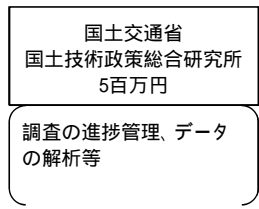


平成23年行政事業レビューシート

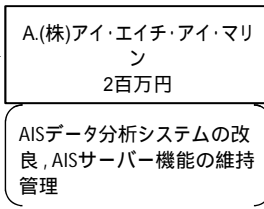
(国土交通省)

事業名	港湾の広域連携化による海上物流への影響把握と効果拡大方策に関する研究		担当部局庁	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H20/H22		担当課室	港湾研究部長、港湾計画研究室		室長 赤倉 康寛		
会計区分	一般会計		施策名	44 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	港湾の広域連携化により、中国に代表されるアジア航路を対象とした海上物流への影響把握と港湾物流関係者等を対象とした効果の拡大方策について検討することで、広域連携の進展に寄与することを目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	広域連携が実施された港湾について、複数港連続寄港率の増加実態等を把握し、海上物流への影響を分析する。また、港湾物流関係者等に対する海上物流情報支援システムの基本構成を検討する。 平成20年度：一般競争入札によるシステム改良業務1件 平成21年度：一般競争入札によるデータ購入2件(AISデータ・船舶動静情報データ)、システム改良業務1件、システム維持管理業務1件 平成22年度：一般競争入札によるデータ購入1件(船舶諸元データ)、システム改良業務1件、システム維持管理業務1件							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	7	5	5	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
		計	7	5	5	-	-	
	執行額	7	5	5				
	執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	広域連携施策の海上物流への影響を把握し、情報支援システムの基礎構成を検討することを目的とする。定量的な成果指標については、研究のため示すことができない。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成20年度より研究を開始し、平成22年度に、広域連携施策の海上物流への影響を把握し、情報支援システムの基礎構成を開発した。定量的な活動指標については、研究のため示すことができない。		活動実績 (当初見込み)				() ()	
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	成果実績及び活動実績の定量的な指標が示せないため、単位当たりコストについても示すことができない。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
		-	-					
	計							

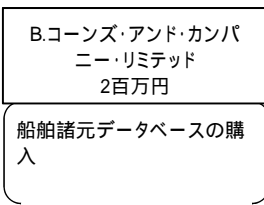
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は平成22年度に広域連携施策の海上物流への影響を把握し、さらに、情報支援システムを開発したことにより、事業の当初の目的を概ね達成したものと認められることから、今後は得られた成果を他の湾域での広域連携化施策展開のための基礎資料として活用することとし、本事業については廃止することとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			



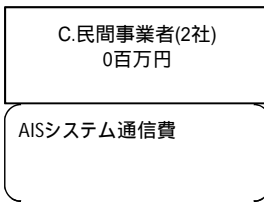
【一般競争入札】



【一般競争入札】



【随意契約】



少額のため、千円単位

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)アイ・エイチ・アイ・マリン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
維持管理費	AISサーバー機能の維持管理	1			
人件費	調査職員	1			
その他	直接経費・諸経費・技術経費	0			
計		2	計		0
B.コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	船舶諸元データベース購入	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイ・エイチ・アイ・マリン	AISデータ分析システム改良業務, AISサーバー機能の維持管理	2	1	97.16
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	コーンズ・アンド・カンパニー・リミテッド	船舶諸元データベースの購入	2	1	99.72
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTコミュニケーションズ(株)	AISシステム通信費	0	随意契約	
2	イー・モバイル(株)	AISシステム通信費	0	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					